

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 13日

事業所名 ことばの教室ことのは

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1			
	2	職員の配置数は適切である	7			個別訓練を基本としているため、基準となる配置数以上に手厚く配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	3		教室は2階にあり、急な階段になっているが、てすりをしっかりつけて対応している。玄関の段差や柱には緩衝材を設置している。また、写真やイラストで児童にも分かりやすい標記を掲示している。	今後、定期的に安全確認を行い、対処の必要な個所を発見次第対応していきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2	1		子ども支援の情報共有に多くの時間が割かれ、なかなか業務改善の場が持てていないので、定期的にその話ができるミーティングを持つようにしていきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1		前年度のアンケートですぐに改善できる点は改善を行った。	前年度のアンケートでの改善項目のうち大きな改善ができていないところもあり、引き続き業務改善に取り組んでいきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1		ホームページに公開中	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2		子どもプラス本部から定期的に巡回実地指導を受けている。また、税理士事務所へ適宜相談助言等をもらっている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	3		各自で興味関心のある外部研修会や講習会に参加し、それをミーティング等で共有等をしている。	Web研修なども利用し、教室全体として、研修の時間をしっかり確保したい。そのために業務の効率化などの創意工夫が必要なのでしっかり取り組んでいきたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2		言語評価では、標準化された検査をおこなっている。(新版構音検査、質問応答関係検査を使用)	他機関からの検査結果を保護者から頂き、状況の把握に努めている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	3		日々のプログラムはSTがメインで立案している。その課題等の把握については、日々のミーティングで全体で話し合い共有している。	プログラム立案のための状況把握をミーティングで行っているが、職員一人一人がプログラム立案にかかわっていることを意識できるようなプロセスを確立していけるよう努めたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			子どもの興味関心のある教材等や遊びを取り入れたプログラムを作成し、子どもたちが楽しく参加できるように工夫している。	これからも各種研修等を通して、魅力あるプログラム作りを行うため、学んだり情報収集等も行っていきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	3		言語訓練のため、平日、長期休暇などで変更するものではなく、課題設定は、日々の訓練の達成度に応じて、日々教材を変えてみたり試験的な課題設定を行ったりしている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	3		子どもの興味関心に応じて、課題を把握し、支援計画に結びつけていきたい。	質問11同様、計画作成、作成後に職員全体で確認が出来る流れを確立できるようにしたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	2	ST以外の職員が担当する場合は、訓練前に必ずどのように訓練をするかなどを申し送っている。また、毎日ではないが、適宜必要な役割分担について確認などを行っている。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			言語訓練を実施した担当者が訓練の様子についてST及び全体ミーティングで報告し、全体で共有する。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			毎回「言語記録」に訓練時の内容や様子を記録している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			保護者、相談員や学校保育園などと関係者会議を行い、適宜支援計画の見直しを確認している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4	3			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			担当ST又は児発管が時間等を調整し参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	1		基本学校の行事や下校時間については、保護者と連絡を取りながら対応しており大きな問題等は発生していない。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	5	1	主治医と連絡体制を取る事は少ないが、保護者からドクターからの指示等について聞き取りを行っている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	2		移行支援の必要な対象児童がいれば、必要な児童の関係者会議に参加し情報共有等を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	4		これまで対象児童がいなかったが、対象児がいれば必要な情報提供は行っていく予定。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2	2	連携等はないが、関係機関が主催する研修会には参加している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		1	6	当教室では、個別訓練をメインのプログラムとしているため、多団体との交流等のニーズはあく個別訓練充実へのニーズの方が高い。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		1	6	そのような場を把握していない。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	1		毎回訓練終了後に活動の様子や課題を保護者に申し送りを丁寧に行っており、また家庭の様子についても同時に把握し相互で共有している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	1		事業所主催のベアドレの講習会は行っていないが、日々の申し送り時に保護者に対し、適宜助言等を行ったり、参考になる情報提供を行っている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	2			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			日々の申し送りの中で、相談があれば助言等の支援や情報提供を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	1	4	保護者同士が学校等で連携や交流をしており、事業所での保護者会の開催はしていない状況。	保護者会がないため、特別保護者同士の連携支援は行っていないが、保護者同士の集まる場についてはニーズを把握し企画の提案を検討していきたい。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1		相談については、申し送り時に確認されたら、終礼ミーティングで共有したり、管理者へ引き継ぐなどの体制はある。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	2		活動の様子については、教室のブログで紹介。連絡体制は保護者との申し送り時の他LINEにて行っている。	会報については、ブログやラインでの情報公開で対応できていると考えている。
	35	個人情報に十分注意している	7				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			子どもの特質として絵や写真が理解しやすい場合は、それを使った意思疎通を図っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3		4	行事への招待は行っていないが、近所への散策活動の中で近所住民の方へ積極的に挨拶等を行い、事業所や障害のある児童への理解の機会になるようにしている。	地域に開かれた事業運営について、検討を行っていきたい。また、実施可能な地域住民との交流、関係性の強化については継続的に行っていききたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1		職員には、マニュアルについて周知済。	保護者に対する周知は不十分な為、説明を行い、緊急時が発生した場合について、ミーティング等でどのような訓練が必要かなど検討していききたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			豪華管理者の指導の下、避難訓練をメインに年に2回実施。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			研修に積極的に参加呼びかけし、参加できなかった職員にはミーティングや研修報告書等で共有している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	2	1	児童の安全を確保する場面に限定し、契約時に想定される対象児がいる場合、保護者に説明理解を求め支援計画に記載している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1		アセスメントシート等で児童のアレルギー等を確認把握している。しかし、基本おやつ等の食べ物の提供を行っていない。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			いつでも見れるように管理し、新人職員に積極的に閲覧してもらっている。また、姉妹教室のヒヤリハットもSNSで共有している。	